

ウチダザリガニ

目科名：エビ目ザリガニ科
学名：*Pacifastacus leniusculus*
原産地域：アメリカ北西部

【どんな被害を引き起こすのか】

生態系：在来水生生物の駆逐

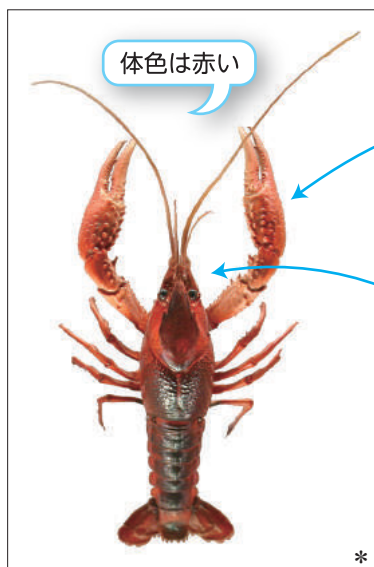
- ・様々な小動物を食べる
- ・水草を切断して水生植物群落を壊滅させる

産 業：漁業への被害

- ・魚の卵を食べ、水産有用種の繁殖を阻害
- ・取水口に死体が詰まり、水位調節を阻害

【間違わないで！】

アメリカザリガニ（外来種）
体長：約10cm（最大約12cm）



体色は赤い

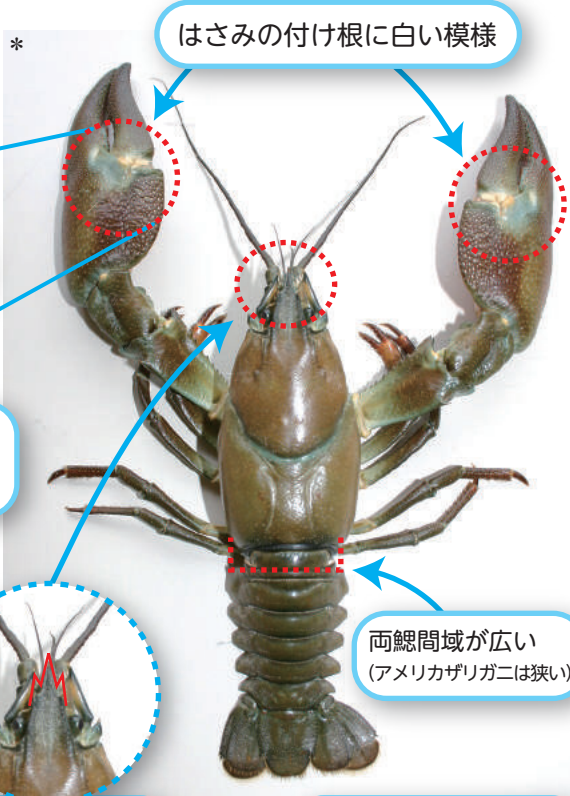
体の色と大きさ、はさみと頭の形に注意しよう！



全体に赤いトゲがある



赤色でごつごつしたトゲがたくさんある



はさみの付け根に白い模様

両鰓間域が広い
(アメリカザリガニは狭い)

先が尖っていて
3つの山に分かれる

・体長最大約15cm
・体色は茶褐色

【生息場所】

- ・湖沼や流れのゆるい河川に生息
- ・結氷する水温から30℃程度まで生存が可能
- ・寿命は4～6年

【どこまで広がっているか】

長野県では

- ・東信地方、中信地方、南信地方の数か所の湖沼・河川に定着

全国では

- ・1909年に初輸入
- ・1926～30年にかけて食用として全国の水産試験場に配布
- ・現在は、北海道、福島、福井、滋賀に分布のほか、宮城、新潟、栃木、千葉でも確認事例あり

【生活史】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
成体											
抱卵・越冬						交尾・産卵					
						・秋に最大 500 個ほどの卵を産み 抱卵したまま越冬					
幼体						8 回以上の脱皮					
孵化～ 3 齢幼生						・脱皮のあと、越冬。 ・その後 3 年目で性成熟（体長約 8cm） （在来ザリガニより短期間で成熟）					
・卵は、春から夏に孵化											
抱卵の様子											



**

